

はだの歴史博物館 令和5年度 企画展

秦野の街並みと記憶

令和5年6月10日(土)~7月2日(日)



区画整理中の秦野駅南部 平成2(1990)年

はじめに

街は一日もその動きを止めることなく変化しています。気が付くと街並みの様子がすっかり変わっていることに驚くこともあるのではないのでしょうか。

特に駅周辺の市街地は変化の速度や度合いも激しく、過去に撮られた写真を見ると、現状と大きな差異があります。

それでも遠くに見える山の形、道路

の勾配や曲がり具合、古くからある神社やお寺などから確かにその場所であるとわかります。

その街並みの光景に見覚えがある場合は懐かしい記憶がよみがえることもあるでしょう。

今回の展示では、小田急4駅周辺にかつて存在した街並みの光景を、市に遺された写真の中からご紹介します。みなさんの懐かしい記憶につながるものがあれば幸いです。



東海大学前駅から鶴巻温泉駅にかけて 平成2(1990)年

鶴巻温泉駅 東海大学前駅



鶴巻温泉駅北口周辺 昭和45(1970)年頃

鶴巻地区は、温泉郷としての顔を持っていましたが、現在は旅館の数も減り、住宅地となっています。地区の中央には県道が走っていて、沿道に商店が並んでいます。

県道の拡幅、歩道整備と南口駅前広場整備が行われ、ここ10年ほどで街並みが大きく変わりました。

大根地区は地区の南東に東海大学が接しており、学生街としての顔を持っています。

学生向けのアパートが立ち並び、駅前には飲食店などが集中しています。

東海大学前駅は昭和62(1987)年3月に大根駅から改名しており、同時に駅の南北を結ぶ自由通路が完成しました。平成20(2008)年には駅周辺の整備が完了し、現在の姿になりました。



大根駅前商店街 昭和57(1982)年



大秦野駅周辺 昭和40(1965)年頃

秦野駅

秦野駅は昭和2(1927)年、「大秦野駅」の名で開設されました。この駅舎は小田急の「五大停車場(新松田・大秦野・本厚木・町田・向ヶ丘遊園)」で採用された「マンサード型」の屋根を持つタイプでしたが、昭和38(1963)年ごろに建替えられています。



大秦野駅北口 昭和30(1955)年頃

この頃から駅前広場の拡張整備事業が本格化し、昭和55(1980)年に完成を見ます。



大秦野駅北口 昭和55(1980)年頃

北口広場の整備が一段落すると、駅南部の土地区画整理事業が始まり、水田と畑が順次宅地化していきました。

平成7(1995)年からは駅舎の改築が始まり、平成9(1997)年には北口のペDESTリアンデッキが完成し、現在の秦野駅の原型が出来上がりました。



渋沢駅周辺 昭和60(1985)年頃

渋 沢 駅



渋沢駅南口 昭和50(1975)年

渋沢駅は丹沢への登山客が多く利用する駅でしたが、昭和45(1970)年頃から周辺のベッドタウン化が進み、市

外に通勤する人々で駅が混雑してきました。

昭和49(1974)年には渋沢駅周辺の土地区画整理事業が都市計画決定されましたが、その実現には多くの年月が費やされました。

平成3(1991)年に始まった北口広場整備は平成5(1993)年の南北の自由通路とペデストリアンデッキの完成をもって完了します。

南口広場整備は平成19(2007)年に完了し、周辺の商店街の風景も大きく様変わりしました。

発行 令和5年6月10日

編集 〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下 380-3

はだの歴史博物館 Tel. 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794